

B T U ボランティア支援センターの活動へのご協力に感謝します 仙台での活動内容のご紹介と今後の活動方針について

1 . 仙台での活動内容

3月末にスタートした宮城県でのボランティア活動は3ヶ月を経過しました。
この間、多くの皆様にご参加いただき宮城県社会福祉協議会からの依頼に応えて南三陸町、石巻市、七ヶ浜町、亘理町、山元町の5箇所の社会福祉協議会職員と仙台市内のサンピア仙台など避難所にいらっしゃる被災者の方々へ毎週1回ずつケアを行うことができました。現地でも喜んでいただき、最近はB T Uのストレスケアが定着して来たようです。

2 . 厚生労働省疲労研究班からの疲労調査受託

5月に倉恒先生のご紹介で厚生労働省の疲労研究班から社協職員の疲労調査の業務を受託し、B T Uにとって新しい研究実績を積み重ねることができました。

3 . 義援金への御礼

この間、美野田代表を初めとして大勢の皆様から多額の義援金をセンターにお送りいただきました。6月末現在で合計150万円近い金額が集まっております。
この義援金は、支援センターの活動として支援物資を現地に送付する費用、セルフケアの資料の印刷費として使用した他、現地へボランティア活動で赴かれた方を支援するためのボランティア保険加入や交通費等の半額補助金として支給させていただきます。

4 . 仙台での活動の映像ご紹介

今までの皆様からのご支援に心から感謝すると共に、これらの活動内容について、映像でご紹介したいと思います。
写真を中心としてまとめておりますので、このHP上からご覧下さい。[URL](#)
また今後各教室の活動も含めた小冊子も作成する予定です。

5 . 今後の支援活動方針

現地では今後も厳しい状況が続きますが、避難所から仮設住宅への移動などの変化もあり、支援センターからできるボランティア活動も収束の時期が近づいております。
そこで、一応6月末で仙台へのボランティア派遣は終了し、今後は首都圏で行われているボランティア活動を中心に支援を続けたいと思います。
また、同時に現地の方々自身がストレスケアを学び、地域の被災者、関係者にケアができることが最も好ましい姿なので、そちらの自立教育が実現できるよう国の支援策等との関連で推進していきたいと考えています。